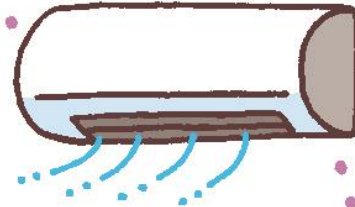


きしほいくえん

夏本番を迎えました。

保育園には子ども達の元気な声が聞こえています。大好きな水遊びでは、水鉄砲、じょうろ、噴水等々で友達と楽しそうに遊んでいます。



ただ、暑さの厳しい日は熱中症対策のために、水遊びも中止せざるを得ない事もあります。小さい子どもは自分で体温調節が上手く出来ません。



そして、自分の体調を言葉にすることも難しいものです。周りの大人は子どもの様子を見守っていきましょう。



早寝早起き朝ごはんを心掛け、
夜は早めに体を休めましょう。



8月・9月の行事予定

- 8月 2日(金) 避難訓練
- 9月 2日(月) お迎え訓練
- 4日(水) 8・9月誕生会
- 6日(金) 1・2歳児保育参観
- 27日(金) きしフェスタ

8月・9月の体操教室

- 8月 体操教室は行いません
- 9月 2日(月) 9日(月) 30日(月)

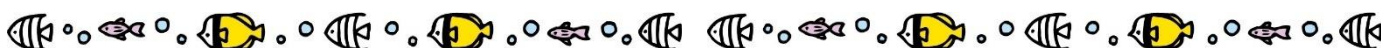
水の事故に注意しましょう



口と鼻をふさぐだけの「水」があれば「溺れ」はおきます。

「このくらいの水なら」「数分だから」とその場を離れたりせずお子さんを見守りましょう。

海や川、プールで遊ぶ時はライフジャケットの着用をお勧めします。



Web 上にお子様の写真のアップを希望されない方は職員室にお申し出ください。

子どものすこやかサポート

鼻は複雑な構造をしています。子どもの鼻は小さく狭いため、少しの鼻水でも鼻に溜まり、鼻水が頻繁に出てしまいます。いつまでも続く鼻水を放っておくのは注意です。

＜中耳炎＞耳を痛がる、発熱、耳だれが出る、聞こえにくさなどの症状がある。

＜副鼻腔炎＞^{ふくびくうえん}鼻の穴のさらに奥にある顔の中の

空洞部分に細菌やウイルスが侵入し、炎症を起こす病気で、色の濃い粘り気のある鼻水が出る、鼻づまり、頭痛、顔の痛みなども見られます。

＜後鼻漏：見えぬ鼻水＞^{こうびろう}分粘度の高い鼻水が鼻の奥から喉にかけて流れる鼻水のことです。副鼻腔炎にかかっている場合に多く、喉に違和感や不快感を覚えます。咳や痰を引き起こしたり、息苦しさや中耳炎の原因となる場合もあります。

こまめに鼻をかんでも良くならない場合は、早めに耳鼻科を受診しましょう。



おきゅうしょく ぱくぱく すくすくの おてつだい

夏休みに、親子で様々な食体験をしてはどうでしょうか。

食に触れることは、子どもの健やかな成長に欠かせない経験です。子どもの食への興味・関心を高めて、食を営む力となっていきます。

家族で食卓を囲み、「おいしいね」「このお野菜は〇〇というんだよ」など会話をしながら、楽しい雰囲気の中で食事をする。



子どもにもできる料理の下ごしらえをしたり、料理を運ぶ、片付けるなどの手伝いをする。



ベランダのプランターや庭で野菜の種や苗を植え育てる。ミニトマトやラディッシュは、収穫までが早いので、夏休み中に成長過程を観察できておすすめです。



保育園でも、子ども達が食体験をできるよう、様々な食育活動を開催しています。

現在は、保育園の畑で、苗植え・水やり・収穫などを年長児が中心になって行い、夏野菜を育てています！